Information 04

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて

ゼロカーボンシティとめ推進メンバーを募集

地球温暖化防止に向けた2050年までのカーボンニュートラル実現には、一人一人が二酸化炭素排出量削減の取り組みを積み重ねていくことが大切です。市では、二酸化炭素排出量削減の取り組みを推進する「ゼロカーボンシティとめ推進メンバー」を募集します。

【対象者】登米市民、市内事業者

【活動内容】▼それぞれの家庭や事業所で、CO2家計簿による二酸化炭素排出量の見える化、省エネなどの削減行動、有効な取り組みなどの情報共有を実施▼省エネなどの取り組みを実践したメンバーの中から抽選で記念品を贈呈する「脱炭素チャレンジ」を実施

【登録方法】電子メールで、タイトルを「メンバー登録」として、❶個人・事業者の別❷氏名・事業所名および代表者名❸メールアドレス❹住所❺電話番号を送信してください。登録は随時受け付けます

ジュニアミーティングを開催します

カーボンニュートラルの実現について、次世代を担うこどもたちの関心と理解を深めていくため、中学生によるジュニアミーティングを開催します。

当日は、地球温暖化の未来への影響や、これからどのような行動が必要かなどについての講演のほか、市内各中学校の代表生徒が地球温暖化についてグループごとに話し合い、その内容を発表します。ぜひ、ご来場ください。

【日時】8月10日(土)午後2時

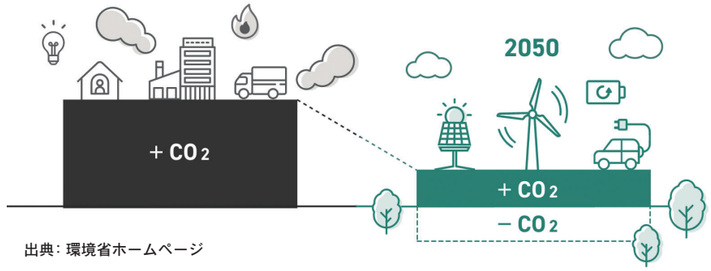
【場所】中田農村環境改善センター(多目的ホール)

【内容】▼記念講演「地球温暖化と生物の持続可能性」講師＝棟方有宗(ありむね)教授(宮城教育大学教育学部)▼中学生によるグループミーティング

【観覧募集人数】20人(申込先着順)

【観覧申込期間】7月22日(月)～8月7日(水)

【観覧申込方法】電話または電子メールで申し込みください



出典：環境省ホームページ

◉共通事項

【申し込み・問い合わせ】市民生活部環境課(環境政策係)
☎0220(58)5553
✉kankyo@city.tome.miyagi.jp

Information 05

10月から児童手当制度が変わります

令和6年10月(令和6年12月支払分)から、児童手当制度を改正します。

■改正内容

		令和6年9月まで(改正前)		令和6年10月から(改正後)	
手当月額	0歳～3歳未満	15,000円		15,000円	第3子以降30,000円
	3歳～小学校修了前	10,000円	第3子以降15,000円	10,000円	
	中学生	10,000円		10,000円	
	高校生年代	なし		10,000円	
算定児童		18歳に達する年度末(高校生年代)まで		22歳に達する年度末まで	
所得制限		あり		なし	
支払月		年3回(6・10・2月)		年6回(偶数月)	

【申請対象者】次に該当する人は申請が必要です
❶高校生年代の子を養育し、児童手当を受給していない人❷児童手当を受給中で、22歳に達する年度末までの子を養育している人❸所得が所得上限限度額以上のため、児童手当を受給していない人
※この他、状況により届出が必要な場合があります

【申請方法】申請書等に必要事項を記入の上、必要書類を添付し、総合支所窓口へ提出してください

【申請期限】9月30日(月)

※制度改正や申請方法などの詳細は、7月中旬以降に送付する案内または市公式ホームページを確認ください

【問い合わせ】福祉事務所子育て支援課(児童福祉係)
☎0220(58)5562

市公式ホームページ「児童手当の制度改正」

Information 06

不妊検査費・不妊治療費を助成します

本年度から、こどもを望む夫婦が早期に検査を受け、必要に応じて適切な治療を開始できるよう、「不妊検査」および「不妊治療のうち自己負担となっている先進医療」を受けた場合に、助成金を交付します。

【申請窓口】福祉事務所子育て支援課、各総合支所市民課

【問い合わせ】福祉事務所子育て支援課(母子保健係)
☎0220(58)5557

■不妊検査費・不妊治療費助成の要件など

項目	不妊検査	不妊治療
対象者	❶申請日時点で市内に住所を有し、法律上の婚姻をしている夫婦または事実婚関係にある夫婦❷検査開始日の妻の年齢が43歳未満❸夫婦ともに検査を受けること	❶申請日時点で市内に住所を有し、法律上の婚姻をしている夫婦または事実婚関係にある夫婦❷治療開始日の妻の年齢が43歳未満
対象内容	医師が必要と認める不妊検査 ※他の事業による助成を受けていないこと ※過去に不妊検査費の助成を受けていないこと	保険適用となる不妊治療と併せて実施された先進医療 ※他の事業による助成を受けていないこと
助成回数	夫婦1組につき1回限り	40歳未満6回まで 40歳以上43歳未満3回まで
助成金額	上限3万円	上限5万円
申請期限	「検査終了日」または「検査開始日から1年を経過した日」のどちらか早い日が属する年度の末日(3月31日)まで	1回の治療が終了した日の属する年度の末日(3月31日)まで
申請に必要な書類など	❶不妊検査費助成金交付申請書❷不妊検査費助成事業に係る受診等証明書❸夫および妻の住民票の写し❹事実婚関係に関する申立書(事実婚関係にある場合)	❶不妊治療費助成金交付申請書❷不妊治療費助成事業に係る受診等証明書❸夫および妻の住民票の写し❹事実婚関係に関する申立書(事実婚関係にある場合)

Information 07

10年後の登米市のまち絵画コンクールを実施

本市では現在、「第三次登米市総合計画」の策定に向けて取り組みを進めており、こどもたちが地域を愛する心を養い、まちづくりに対する市民参画の機運を高めるため、絵画コンクールを実施します。

【募集テーマ】10年後の登米市のまち

【応募資格】市内の学校に通う小中学生

【応募方法】在学する学校を通じて応募してください

【表彰】優れた作品には、令和7年4月に予定している市制施行20周年記念式典で賞状と副賞を贈呈します

【作品の活用】入賞作品は、第三次登米市総合計画の冊子への掲載などを予定しています

【問い合わせ】まちづくり推進部まちづくり推進課(まちづくり推進係)
☎0220(22)2147

平成26年度実施「10年後の登米市のまち」絵画コンクール
小学校高学年の部最優秀賞作品

市内各地区で取り組んでいる地域づくり活動を、シリーズで紹介します

地域の種まき隊

vol. 10

津山宝(だから)発掘・発信

津山公民館 集落支援員

佐々木 真一(しんいち)

自然豊かで、国道45号線からちょっと山間に入ると吸い込まれるように、どんどん奥に入って行きたくなる魅力を持った津山地区。

住民が振り向き、気に留めてくれるような斬新な企画を計画し、毎月発行する「つやまだより」を通して広くアピールしています。アンケートで多くの高齢者の皆さんがスマホを使用していることが分かり、地域の明るい未来性を感じています。スマホやパソコンも何気なく使いこなせるような、粋な地域になってほしいと思います。